



これがいい！をめざして（図工室より）

感染予防のための新しい生活様式になって、2年。図工室でも、パーテーション越しでの学習が当たり前の風景になりつつありますが、子どもたちは毎日一生懸命作品作りに取り組んでいます。

毎年、授業開きの時に子供たちに話していることがあります。それは、自分の作品を好きになってほしいということです。思ったように作れなくても、一生懸命作った作品には自然と愛着がわき、「好きな作品」になります。失敗したなあと思うところもあれば、お気に入りポイントもある。試行錯誤を繰り返しつつ、「これがいい！これがベスト！」と真摯に作品作りに取り組むことで、「好きな作品」ができあがります。「これでいいや」という気持ちで作った作品は、好きにはなれません。作品作りは、自分と会話する時間です。思い描いた設計図を形にできるように、試したりやり直したりしつつ作品はできあがっていきます。そして、答えは一つではなく、無限大です。いろいろな作品、考え方があって当たり前。友達作品を見ることや、「そこいいね！」と声をかけてもらうことで、新しい発想にもふれることができます。きれいで上手な作品を目指さなくてもいい。ただ全力で取り組んで、うまくいかなかったところさえも愛せるような、自分の納得できる作品を作って欲しいと願っています。



これまでのわたし これからのわたし（2年生）

2年生は、生活科で、「これまでのわたし これからのわたし」の学習をしています。

生まれた頃や小さかった頃のことを家族にインタビューして調べたり、小学校に入学してからのことを自分で振り返って思い出したりして、まとめをしています。

学習の始めに、今の自分を見つめ直す活動をしました。自分が好きなことや自分のいいところを考えたのですが、パッと浮かんでくる子もいれば、なかなか思いつかない子もいました。しかし、クラスのお友だちから、「〇〇ちゃん、いつも、こんなことしてるやん！」、「〇〇くんは、やさしい！」などと、いいところを見つけてもらうと、みんな照れくさそうな、うれしいような、にっこり笑顔になりました。新たな自分発見と共に、ほっこりあたたかい時間が流れました。

2年生になってから、終わりの会でも、きらりと光る友だちのいい所やがんばっているところを見つけ、それを伝え合ってきました。あらためて、お互いのよさや違いを見つけ認めることができるようになってきているのを感じました。

今後は、「これまでのわたし」だけでなく、「これからのわたし」についても考えていきます。3年生に向けて、もっと先の未来に向けて・・・自分がどうなっていきたいか考えながら、みんなで2年生をしめくくっていければと思っています。

わたし・ぼく・友達が生まれた日も・・・（5年生）

「わたしが生まれた日も、みんな大喜びやったのかな〜」「赤ちゃんが産まれるってすごいことなんやな〜」「男性も一緒に頑張らないといけないことが分かりました。」と話す子ども達。先日、助産師さんを学校にお招きして「いのちの教室」を開きました。性教育の一環として生命の誕生や出産について、また、一人ひとりの命がかけがえのない大切なものであることや、小学生のうちに健康な体をつくっておくことなどのお話をしていただきました。真剣な表情で話を聞いていた子ども達も、赤ちゃんが家族に囲まれている映像を見た際には、優しい表情を見せていました。「ぼくや友達が産まれた時も、あの赤ちゃんのように周りの人がみんな笑顔になったのかなと思いました。」「わたしも友達もみんなが、とても大切な命なんだと改めて思いました。」とふり返りを書く姿がありました。

「自分も友達も大切に。」大切なこととは分かっているけど、なかなか行動には移せないことがある言葉です。その言葉の意味を今日の講演を通して、そして自分が生まれた日のことを思い浮かべながら感じた5年生。生まれた日から今日までたくさんの人の支えのおかげで成長できたことに感謝し、最高学年までの2ヶ月を大切に過ごしていきます。

